



原町通信

本縣知事 原町視察

小柳本縣知事は既報の如く廿四日原町來着し直ちに原町署及縣立農藝學校、土木監督所、蠶業取締支所、無線電信所等を視察し、農藝學校に於て同校生徒に對し農業方面に就ての講話あり丸屋旅館に一泊し同地方官民の歡迎會あり廿五日は双葉郡に向ふ筈なり。

相中陸上運動會

立相馬中學校第二十七回秋季陸上運動會は去る二十三日中村町舊城跡内二の丸グラウンドに於て開催されたが初秋小春日同日は秋季皇靈祭に相當したので近郊近在よりの來觀多數あつて盛會を極めたが、同日の呼物であつた相馬郡内の各小學校生徒の競技會に優勝旗は左の二校に決した。

大饗校開校式

郡大饗尋常高等校は本年暑中休暇中増築中なりし事は既報の如くなるが此程竣工せしを以て来る十月二日に開校式を舉行する筈なり。

中村神社の大祭

社中村神社の例祭は十月一、二兩日に執行せらるゝが同日は二の丸に於て競馬を催し又松ヶ江村が中村町に合併せしを以て原釜まで神輿渡御する筈である。

チブス終熄

相馬郡小高町に一時猖獗を極めたチブスは累計十八名となりたるも町民の自己衛生を發揮した爲め漸次消滅し今日の僅かに三名を残すのみにて退院せしは同町の爲め祝する處なり。

カフェー女給

氣まぐれ生投、モンテラフの副産物として今や全國津々浦々に至るまでカフェー何々と書いた看板が必ず町村に存在してゐる程、カフェー全盛時代である。凡て如何なるものも發達に伴ひ弊害がまたそれに生ずるは當然なり、カフェーも又その例にもれず社會に對して相當の有害なる事は何人も否定せざるものなり。

このカフェー征伐の旗印を眞つ向にフリカザし、叫んだのはカフェーの最も全盛地大阪商工會議所であり、遂先日は濱口内閣の閣議の話題にまでカフェー問題が論議された程重大化して來たのである。この問題に對し余の私見否その内面を書いて見やう。

先づ何事も根本からの問題である、カフェーの罪を誰がこゝうさせたかの問題である、カフェーは日本語にて譯せばコーヒー店なり、コーヒーを飲ますに過ぎざる營業はレストランに過ぎざる營業はレストラン料理店の地位に進み今やまさしく公娯の眞似事やうにまで立ち入りつたり、故に罪惡も又當然重なり、するのである、しかもそのカフェー企業者の内面そのトクツクは實に巧妙極まる手段を講じ、社會より最も不良視されて居る女給達より搾取してゐるのである事實は雄辯に語る女給達は無給である、否一流所ではその稼高の幾割は親方にハネられ(強制的に或名目の下)に尙ほ驚くべきは彼等女給達にナフキン代、マツチ代、ストープの石炭代まで背負はす吸血鬼が業者に現存してゐるのである、しからば女給達は不良化するのが當然でないか。

ハガキ集

投書歓迎

▲自動車の運轉手なんぞ學問が乏しいんだから氣を付けて事をしろよ○野の馬鹿め(一時の客)▲某床屋の銀介どか大助平とか云ふ女たらし、頭かつちめえば御客でねえのか

冬物の代表的 新柄大賣出し

新柄に映ゆる三井本セルと本ネル今秋の代表的作品 模様銘仙とモス各種豊富に新荷着、此際平素の御引立に酬ゆる爲徹底の特價を以て提供致します

三井呉服店

平三丁目(電話三八番) 手前の處へ行つてトク頭になつた男があるぞ、チト氣をつて。(トク頭生)▲○○鐵工場の若者よ、新田町行きは中止せよ、廿二三歳の若者が千回通つて見たとて先きは藝者だ「おまへ一人を待ちうけて不景氣な此世を送られよか」君の藝者であるまいし「ヤキモチヤクのはよしなさい」胸さんばかりよばないで三度に一度は山形家もよんでくれ、しかしこゝらで藝者買ひはやめてくれ、後には工場も吞んちやつて、末は門に立つ身となるぞ(○ホ工場心配するド口水生)

君はい、型の洋服を求められたね。誂だね? いや君コレは例のソレ正札堂の 通場車停町平 堂札正

風味の良、一の井、松茸フライ、▲新料理、ハムとベーコン、ソセージとゲンバイ

來れよ、初秋第一の娛樂場、秋季愛讀者特別慰安大會、東京大歌舞伎名題、市川壽美十郎、外五十名大一座、期日 九月二十四日ヨリ向四日間、時間 午後五時花火合圖開演、入場料各地共一等席一圓、特別優待割引券進呈之處、愛讀者諸君に限り

松たけ、鳥、季節向き新料理、を始めました、た誘ひの上御試食を願ひます、平町田町、電話二三六番、初音

平看護婦會、廿六日ヨリ上映三大名畫番組、看護婦派出の需めに應じます、平町字南町(電話三〇七番)

斯界大に波紋を投ぜし豪華篇、清水次郎姉妹篇、山本末、劇大、人の世の姿、井上正夫、藤野秀夫、渡邊篤、押本映治、小藤田正一、原作 田村平三郎、監督 五所平之助